

一般会計歳出の状況

歳出の費目別で第1位は民生費で全体の23.4%を占めています。続いて総務費(19.9%)、教育費(17.0%)、衛生費(13.6%)となっています。

それぞれの費目で主な内容は下記のとおりです。

民生費

- ・子ども手当支給事業 8億2,193万円
- ・障害者自立支援事業 4億9,070万円
- ・生活保護者扶助事業 4億3,839万円

総務費

- ・基金管理事業 12億1,816万円
- ・(仮称)さんぶの森交流センター整備事業 3億8,328万円

教育費

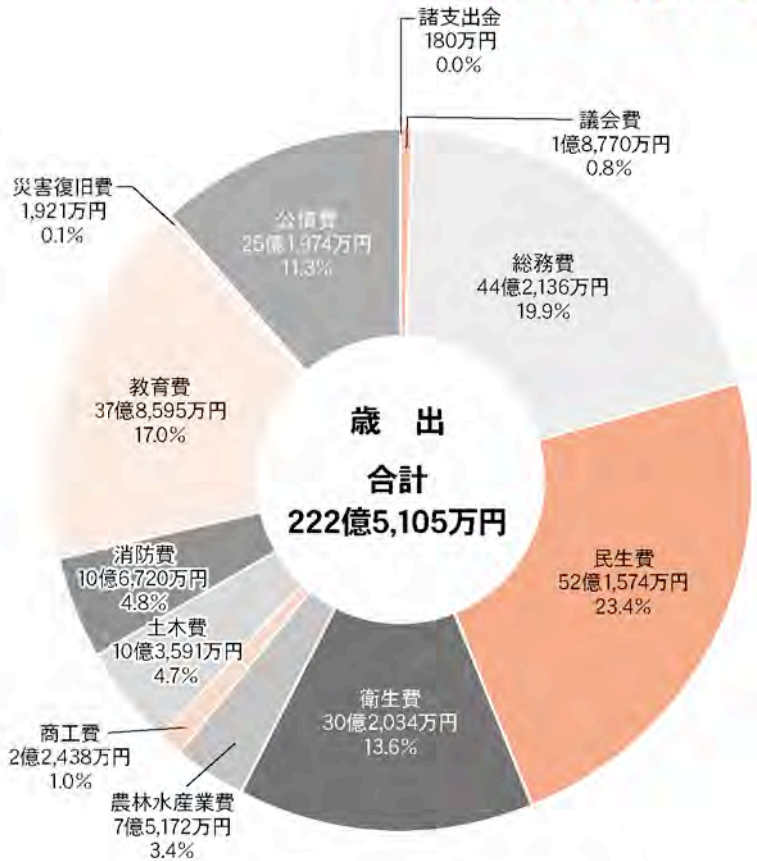
- ・小学校屋内運動場整備事業 8億3,610万円
- ・太陽光発電設備設置事業(小・中学校合算) 4億140万円

衛生費

- ・地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業 9億319万円
- ・山武郡市環境衛生組合負担金 4億4,805万円

歳出の解説

- 議会費… 議会の運営に係る経費
- 総務費… 市の行政運営、財産管理、市民サービス、情報化の推進に係る経費
- 民生費… 高齢者、障害者、児童の福祉などに係る経費
- 衛生費… 病気予防のための各種健診、さんむ医療センター等医療に係る経費およびごみ処理等環境に係る経費
- 農林水産業費… 農林水産業の振興と農道等の整備に係る費用
- 商工費… 商工業および観光振興などの経費



- 土木費… 道路、河川および公園整備などに係る経費
- 消防費… 消防活動や防災のために係る経費
- 教育費… 学校や社会教育およびその施設に係る経費
- 災害復旧費… 災害によって生じた被害の復旧に要する経費
- 公債費… 借入金の返済に係る経費
- 諸支出金… 公営企業会計(松尾自動車教習所)の循環バスに係る経費を支出

特別会計・公営企業会計の決算

特別会計

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険特別会計(事業勘定)	73億4,533万円	68億8,855万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	1億5,019万円	1億3,599万円
老人保健特別会計	153万円	153万円
後期高齢者医療特別会計	3億7,915万円	3億7,685万円
介護保険特別会計	34億6,581万円	34億6,157万円
農業集落排水事業特別会計	2億3,299万円	2億2,257万円
組合立国保成東病院事業清算事務特別会計	20億1,908万円	18億1,862万円
地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計	3億816万円	3億816万円

公営企業会計

公営企業会計	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業	3億9,259万円	3億4,137万円	1,393万円	1億4,825万円
自動車教習所事業	4,184万円	6,413万円	0万円	2,414万円

平成22年度決算に係る財政健全化判断比率および資金不足比率

*「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成22年度健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

財政健全化比率

(単位:%)

	山武市の比率	早期健全化比率	財政再生比率
実質赤字比率	—	12.79	20.00
連結実質赤字比率	—	17.79	40.00
実質公債費比率	14.7	25.0	35.0
将来負担比率	41.0	350.0	

当市においてはいずれの比率も早期健全化に該当しませんでした。引き続き健全な財政運営に努めてまいります。

資金不足比率

(単位:%)

	山武市の比率	経営健全化基準
水道事業	—	20.00
自動車教習所事業	—	
農業集落排水事業特別会計	—	

当市においてはいずれの会計も資金不足にはならず、経営健全化基準に該当しませんでした。



平成22年度決算報告

問 財政課 ☎ (80) 1121

平成22年度の決算が、12月定例議会にて認定されました。今回はその概要を一般会計を中心にお知らせします。

一般会計	歳入	236億4,551万円
	歳出	222億5,105万円
特別会計	歳入	139億 224万円
	歳出	132億1,384万円
公営企業会計	収入	4億4,248万円
	支出	5億7,190万円
全会計	歳入・収入合計	379億9,023万円
	歳出・支出合計	360億3,679万円

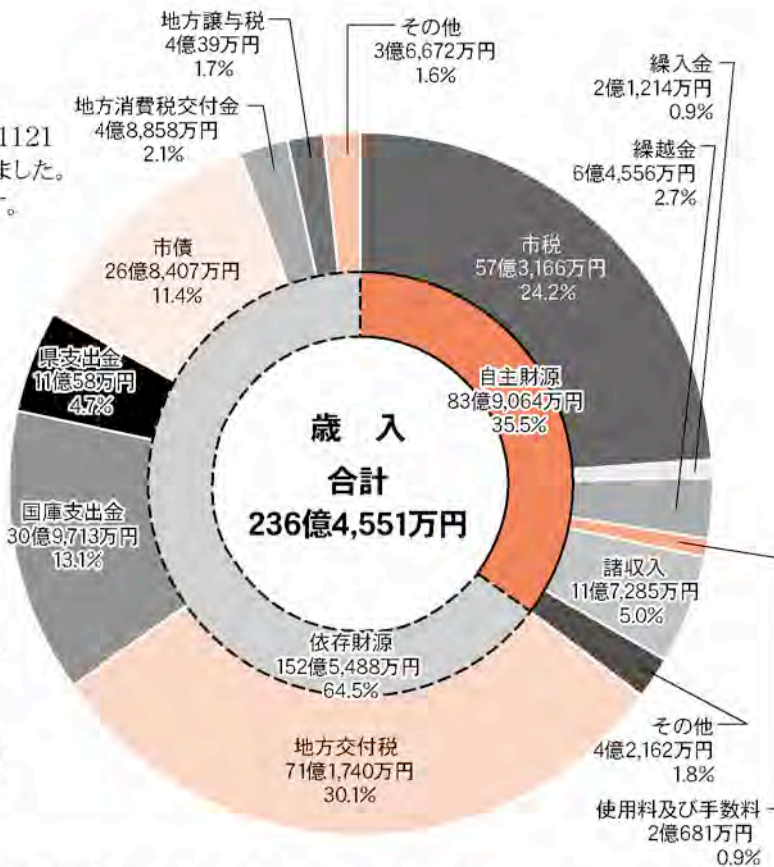
一般会計歳入の状況

平成22年度は、前年度に比べ4億3,497万円(1.9%)増となりました。

一般会計の歳入では、皆さんに納めていただいた市税(約24%)と国からの地方交付税(約30%)が柱となっております。

自主財源は、前年度に比べ4億7,858万円(6.0%)増となりました。柱である市税は景気の低迷が底を打ち、前年度に比べ微増ながら回復傾向になり2,405万円(0.4%)増、諸収入が松尾自動車教習所の剰余金を一般会計に収入し前年度に比べ3億8,878万円(49.6%)増となったことが主な要因です。

依存財源は、前年度に比べ4,360万円(△0.3%)減となりました。地方交付税が6億8,400万円(10.6%)増となりましたが、国庫支出金が前年度実施された定額給付金給付事業の皆減等により4億7,902万円(△13.4%)減、市債が前年度で地域振興基金積立事業の借入が完了したことにより3億5,443万円(△11.7%)減によるものです。これにより平成22年度の山武市の歳入は、依存財源の割合が前年度に比べ1.4%減の64.5%となりました。



歳入内訳の自主財源(グラフの赤の部分)

皆さんに納めていただいた税金や使用料、手数料など、市が独自に収入した財源をいいます。

- 市税…市民税、固定資産税など
- 繰入金…基金(市の貯金)の取りくずし
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- 使用料及び手数料…市の施設やサービスなどが利用されたときに収入されたお金
- 諸収入…給食費など
- その他…財産収入など

歳入内訳の依存財源(グラフの青の部分)

国や県からルールにより定められた額を交付されたり割り当てられた財源をいいます。

- 地方交付税…市の財政力に応じて国から交付されたお金
- 国庫支出金…市で行なった事業に対して国が負担すべきお金や補助したお金
- 県支出金…市で行なった事業に対して県が負担すべきお金や補助したお金
- 市債…大規模な事業を行なう時に借りたお金など(山武市では、後に返済するお金に対し、地方交付税が入る割合の高い市債を借り入れています。)

市債の状況

22年度借入額	22年度元金償還額	22年度末現在高
26億8,407万円	22億42万円	210億2,609万円

基金の状況

*市の貯金にあたる基金の状況をお知らせします。

22年度取崩額	22年度積立額	22年度末現在高
7億7,195万円	17億6,856万円	138億4,027万円

※表内の金額は表示単位未満を四捨五入しているため、総額と一致していない場合があります。

※別表 市税の内訳

市民税(個人)	21億9,260万円
市民税(法人)	5億58万円
固定資産税	26億51万円
軽自動車税	1億1,372万円
市たばこ税	3億1,895万円
鉱産税	531万円
計	57億3,166万円